文部科学省「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」（平成24～26年度）

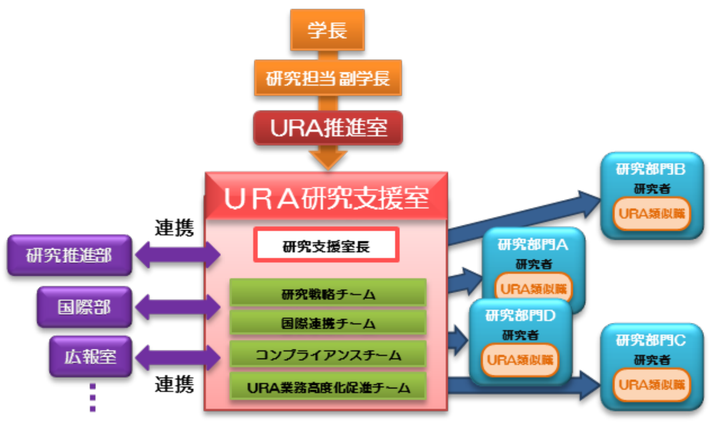
筑波大学URA研究支援室

筑波大学URAの主な特色

(1) URAを事務職員として採用　⇒ URAが学内に組み込まれ「安定した組織」となり、長期的な取り組みが可能になる
(2) 補助事業終了後は、定年制へ移行 ⇒ 安定した雇用・優秀な人材の確保・長期的な人材育成が可能になる
(3) 本部URAを中心とした、学内各部局URA（類似職）とのネットワーク構築
(4) 事務職員の特色を生かしたURAキャリアパスの構築、昇任基準・能力開発プログラムの構築

組織図

筑波大学URA研究支援室は、研究担当副学長の直下に配置されているため、全学的な研究戦略の立案等に関わることが可能である。さらに、各部局のURA・URA類似職との密接なネットワークを通して、研究者の研究管理業務を支援することができる。



主な業務内容

研究戦略機能
研究企画・調査、国際研究動向調査、組織横断型プロジェクト・メーキング等

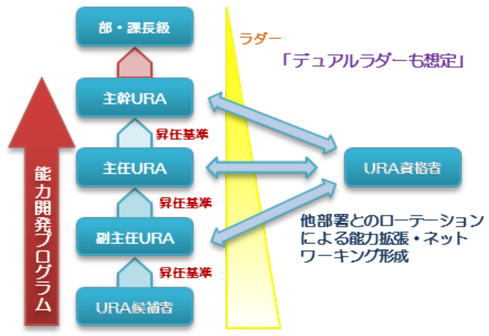
国際連携機能
国際交流・共同研究、国際的産学連携、知財関連業務等

コンプライアンス関連機能
各種規制・規則、研究倫理、利益相反、安全保障貿易管理、拠点形成型・プロジェクト支援、その他のコンプライアンスに関わる機能

URA業務高度化促進機能
URA業務高度化のための調査分析、WEBベースURAサービス提供システム開発等

筑波大学URAのキャリアパス・つくばURA能力開発プログラム

筑波大学URAは、筑波大学に最適なURA職務定義を設定し、それを持続的に精緻化していくことで、URA候補者から段階的にキャリアを形成していくことを想定している。そのために、職位昇進の指針となる「昇任基準」、人材育成のための「つくばURA能力開発プログラム」を構築している。



昇任基準
各職位に昇進するために必要な、業務経験、知識・能力・資質、業績等に関する詳細な基準を構築している。
例）内部における業務経験期間、他部署とのローテーション経験　など。

つくばURA能力開発プログラム

- OJT
  - URA研究支援室における業務
  - 研究支援関連部署での業務（一定期間出向）
- Off-JT
  - 大学院共通科目の受講
  - 大学研究センター履修証明プログラムへの参加
  - 産学連携本部等が提供するセミナーや研修会への参加　など

活動実績（一部）

- 産学連携課、ダイバーシティ推進室、研究企画課等と連携し、提案書作成・作成支援等を実施
- 各種研究管理業務支援を実施
- 「URA初任者研修」
  「URA研究戦略セミナー」
  「URA国際力強化研修」
  「URA研究支援室内研修」
  「つくばURAフォーラム」　等の実施

筑波大学URA体制整備の構想

補助事業でスタートし、継続的に拡大・定着させます

スタートアップ期（補助事業期間）	拡大・定着期	持続的発展期
・URA体制の加速度的整備 ・URA資格者の加速度的育成	・URA40人体制の構築とURAの定着 ・継続的な能力開発および業務高度化	モデルとして全国へ普及

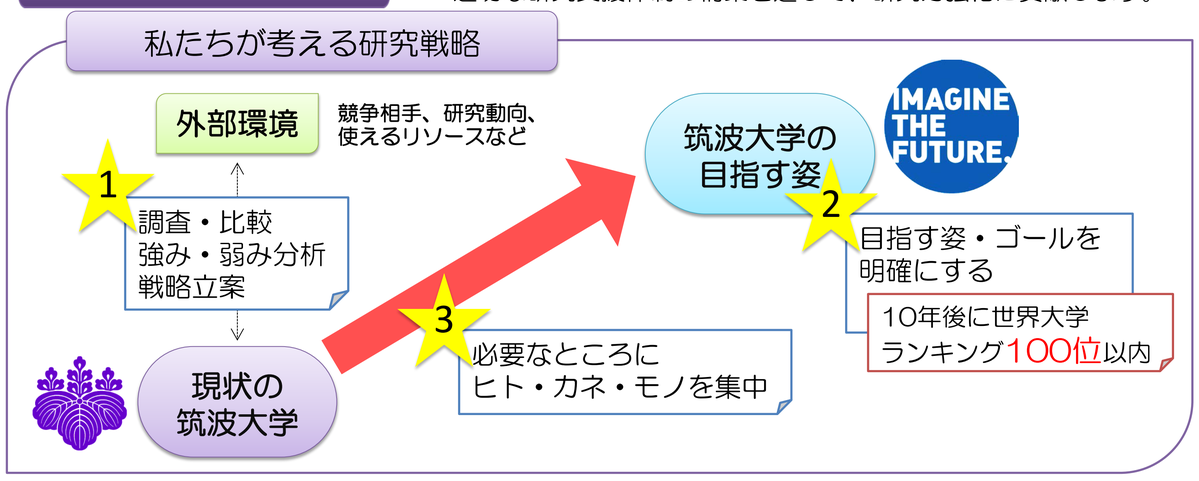
メンバー

URA研究支援室長　馬場　忠　教授
石本　太郎、加藤　英之、栗原　翔吾
新道　真代、杉山　梨恵、二階堂　知己
藤根　和穂、宮川　武、森本　行人
安村　友紀

研究戦略チーム

筑波大学の強み・弱み分析から全学の研究戦略を立案し、適切な研究支援体制の構築を通じて、研究力強化に貢献します。

私たちが考える研究戦略



これまでの取組

- 研究大学強化促進事業　採択
  - 申請書作成支援（pre-award）
  - 施策の企画立案（post-award）
    - 一流外国人研究者招聘プログラム　等
- 科研費獲得支援
  - 外国人教員向け説明会の実施
  - 生命環境系における勉強会開催
  - 申請書の個別アドバイス

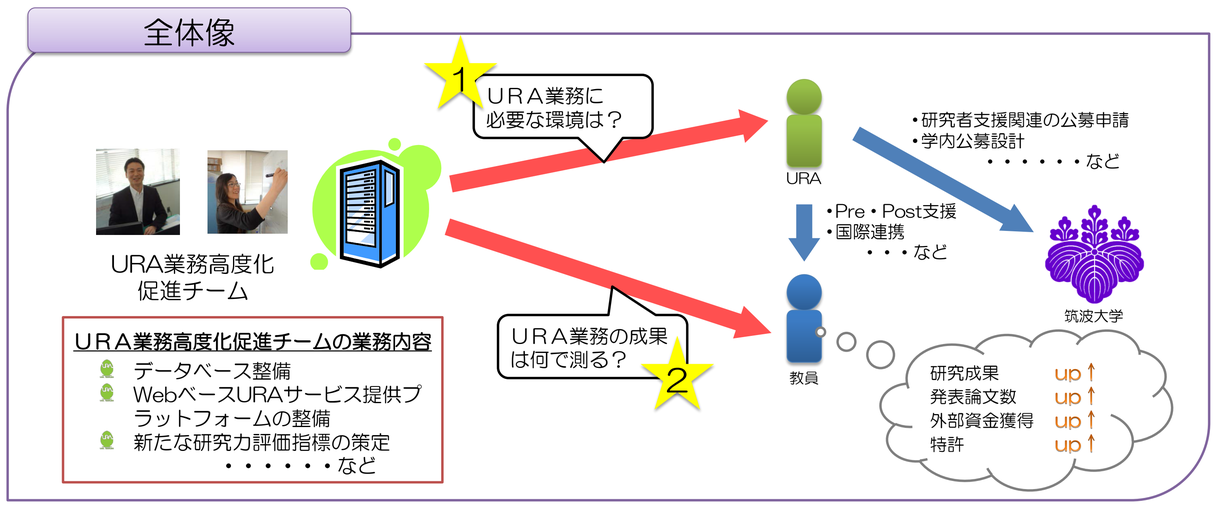
今後の展望

- 研究者のキャリアステージに応じた研究支援体制の構築
- 研究力強化のための戦略立案
- 全学的な科研費獲得支援
- 大型競争的資金の獲得支援
- 「研究大学強化促進事業」各施策の企画具体化と実行支援
- 組織横断型新規プロジェクト・メーキング

URA 業務高度化促進 チーム

データベース整備、ＵＲＡサービス提供プラットフォーム構築、学内業務フローの適正化を通じＵＲＡが働きやすい環境を作りを行っています。

全体像



これまでの取組

- 全学的な研究戦略の立案・実施支援（研究大学強化促進事業など）
  ⇒基盤分析・データ提供
  ⇒研究に関する学内外のデータ収集・統合
- 新たな研究力評価指標の策定
  ⇒人社系の研究評価指標についての調査
  ⇒教員インタビュー

今後の展望

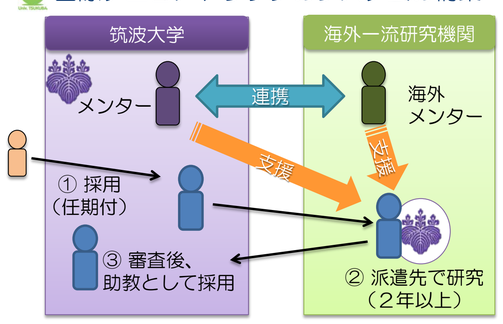
- 人社系の研究力評価指標の構築
- 理系研究力評価指標の改善
- 研究戦略チーム・国際連携チームの業務に役立つ分析ツールの開発
- ＵＲＡ業務の見える化・ブランディング
- ＵＲＡサービス提供プラットフォームの充実
- ＵＲＡインターン制度の構築

国際連携チーム

国際的に活躍できる若手育成や支援体制の整備を通じて、国際研究拠点形成に貢献します。

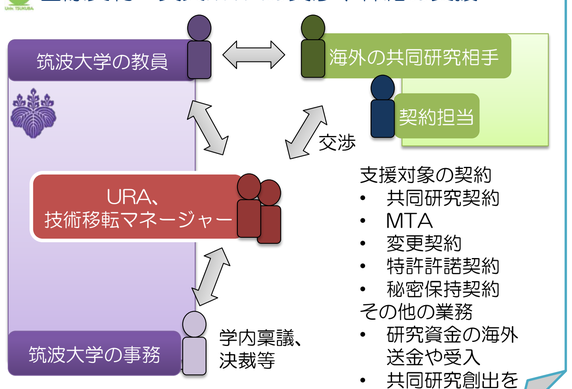
これまでの取組

国際テニュアトラックのシステムの構築



テニュア審査期間の研究を海外で行い、その業績をテニュア化審査に利用。長期的な国際展開のパイプ構築を目指します。

国際契約・英文MTAの交渉や締結の支援

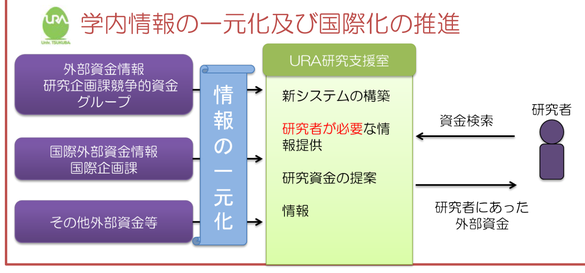


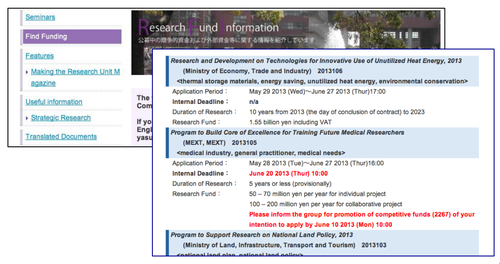
支援対象の契約
- 共同研究契約
- MTA
- 変更契約
- 特許許諾契約
- 秘密保持契約

その他の業務
- 研究資金の海外送金や受入
- 共同研究創出を視野に海外訪問

今後の展望

学内情報の一元化及び国際化の推進





（例）外部資金情報の英語化

リサーチユニット総覧作成

リサーチユニットとは、「新たな研究領域の創出」、「社会的・地球規模的な課題の解決」を目指す、部局の枠を超えた横断的で多様な学問領域の研究者群。**115**あるリサーチユニットの優れた研究を、冊子やホームページでURAが社会一般に発信します。

今年度は、５６件のインタビューを実施。第一部出版予定！！

同時に、
各リサーチユニットの代表者をURAがインタビューし、教員の研究内容や興味、将来的な展望を把握。
新たな学際連携や研究支援につなげます。

URL: http://research-unit.osi.tsukuba.ac.jp

筑波大学 University of Tsukuba

筑波大学URA研究支援室
Research Administration Office
ホームページ　http://ura.sec.tsukuba.ac.jp/

Univ. TSUKUBA